

CD ライブラリー (DC-300) ソフトウェア取扱説明書 (Windows 版)

警告

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。

目次

1. はじめに
2. ソフトをインストールしよう
3. ソフトを使おう
4. 警告
5. 初期設定
6. データベース管理

6.1 File メニューの項目

- a) バックアップを保存する (Backup database)
- b) データベースを復元する (Restore database)
- c) CD 編集 (CD Edit)
- d) 画像読込み (Acquire)
- e) 最近使ったファイル (Recently used)
- f) 印刷 (Print)
- g) 終了 (Exit)

6.2 Function メニューの項目

- a) 電源オン (Power On)
- b) 電源オフ (Power Off)
- c) リセット (Reset)

6.3 Set メニューの項目

- a) セットアップ (Setup)
- b) デバイス ID 変更 (Swap Device ID)
- c) パスワード (Password)
- d) マルチ選択 (Multi selection)
- e) パネル (Panel)

6.4 Tab の項目

- a) 追加・編集 (Add/Edit)
- b) 検索 (Search)
- c) 内容 (Content tab)
- d) 内容説明 (Remark)
- e) プレビュー (Preview)

はじめに

CD ライブラリーの機能を完全に利用するためには本体をパソコンに接続してからソフトをインストールしてください。対応 OS は Windows XP・2000 Professional・Me・98SE です。

注：Windows XP・2000 の OS では Administrator モードでログインする必要があります。
Windows 95/NT 4.0 は USB インターフェースをサポートしてないため、動作できません。

ソフトをインストールしよう

1. 同梱 CD-ROM を CD-ROM ドライブに挿入します。
2. Autorun.exe が自動的に起動します。自動的に起動しない場合、explorer から CD ドライブを選択し、「CD Library For Windows」フォルダの中にある Setup.exe ファイルをダブルクリックするとインストールが開始します。
3. 画面上の指示に従って、インストールします。
4. インストールが完了したら、CD-ROM を取り出し、CD ライブラリーに保管することをおすすめします。

ソフトを使おう

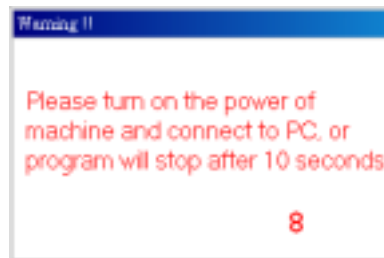
ソフトを起動する

インストールが完了したら、デスクトップにアイコンが作成されます。このアイコンをダブルクリックすると CD ライブラリーが起動します。



CD ライブラリーアイコン

警告

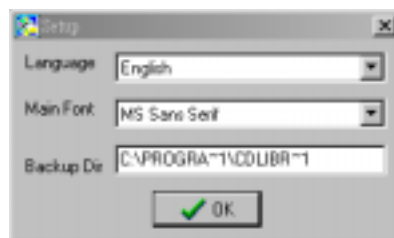
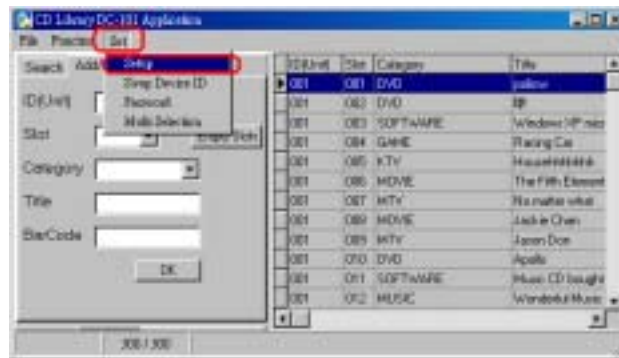


以下の原因で上記の警告が表示されることがあります。

1. CD ライブラリーに電源が入っていません (処置: AC アダプタをコンセントに差し込みます)
2. CD ライブラリーの USB ケーブルがパソコンに接続していません (処置: USB ケーブルをパソコンに接続します)
3. パソコンは CD ライブラリーを認識されません。
 - 1) パソコンの USB ポートが正しく動作されているかどうかを確認します。
 - 2) 「デバイスマネージャー」で「USB Human Interface Device」が表示されているかどうかを確認します。
 - 3) 「USB Human Interface Device」をダブルクリックすると、ドライバーが表示されます。

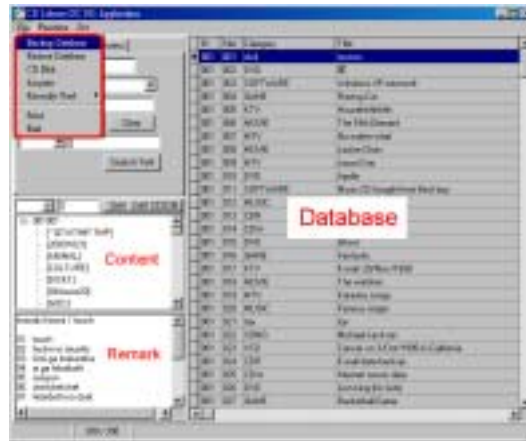
初期設定

言語設定を日本語にし、好みのフォントを選択します。ここでデータベースのバックアップディレクトリも指定できます。



データベース管理

File メニューの項目



a) バックアップを保存する (Backup database)

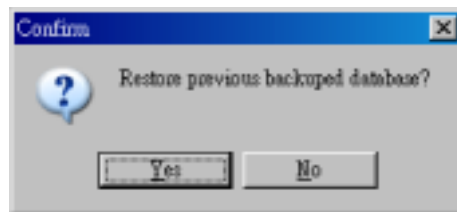
データを入力してから、この項目を選択する、データのバックアップ (BAK ファイル) を指定のフォルダに保存します。バックアップのフォルダは C:\Program Files\CD Library にあります。CD ライブラリーのフォルダはすべてデータベースに使われます。オリジナルのデータベースが破損した場合、ライブラリーは自動的に破損したフォルダを BAK フォルダで上書きします。バックアップフォルダは問題が発生した時のみ使われます。

注意

ソフトを再インストールする際、一旦 CD ライブラリーフォルダにあるすべてのフォルダを別のディレクトリにコピーした後に行ってください。インストールが完了したら、CD ライブラリーフォルダに戻してください。別のパソコンで同じデータベースを利用したい場合、すべてのフォルダをコピーし、別のパソコンの CD ライブラリーフォルダに移動させてください。



b) データベースを復元する (Restore database)



前のデータベースを利用するためには、「データベースを復元する」を選択します。バックアップを保存する**前**のデータベースになります。

c) CD 編集 (CD Edit)

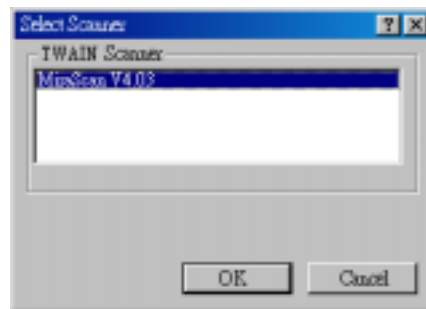


1 枚以上の CD を同時に編集するためには、「CD 編集」で簡単に出来ます。

注: 「OK」をクリックすると「Data not complete」が表示されることがありますが、その場合は「確定」を押し次へ進んでください。



d) 読み込み (Acquire)



TWAIN 対応のスキャナーが接続されている場合に利用できます。クリックするとスキャナーのアプリケーションが起動します。読み込んだ画像をデータベースに追加できます。

e) 最近使ったファイル (Recently used)

最近使った CD (10 枚まで) が表示されます。一番最近使った CD が上に表示されます。

f) 印刷 (Print)

データベースに入っている CD のタイトルを A4 用紙に印刷します。数台のライブラリーを使っている場合、ID でライブラリーを選択します。



g) 修了 (Exit)

ソフトを修了します。

Function メニューの項目



a) 電源オン (Power On)

本体の電源を入れます。

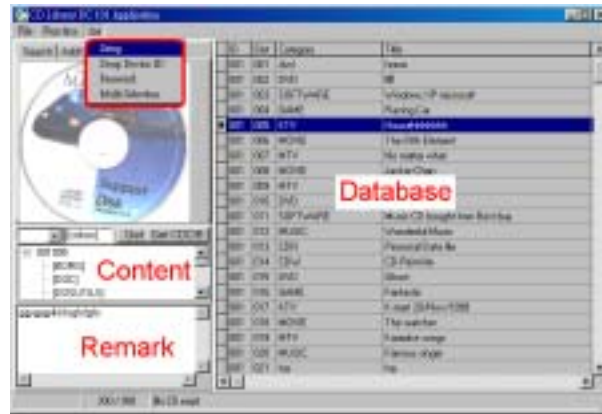
b) 電源オフ (Power Off)

本体の電源を切ります。

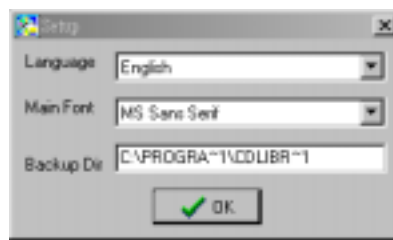
c) リセット (Reset)

本体をリセットします。作動中に異常が発生した場合、「リセット」を選択すると本体がリセットされ、元通りになります。

6.3 Set メニューの項目



a) セットアップ (Setup)



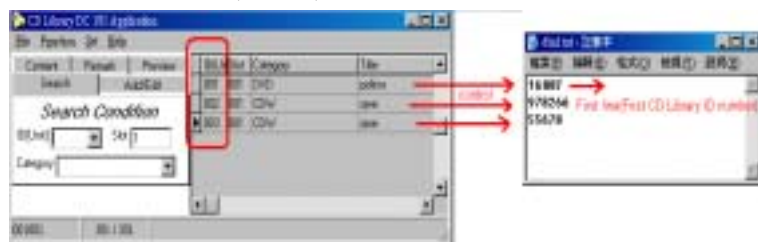
1. 言語: 言語を選択することができます。
(繁体字中国語、簡体字中国語、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、スペイン語、韓国語、日本語)
2. フォント: 適切なフォントを選択することができます。
3. バックアップディレクトリ: バックアップファイルのディレクトリを変更します。

b) デバイス ID 変更 (Swap Device ID)

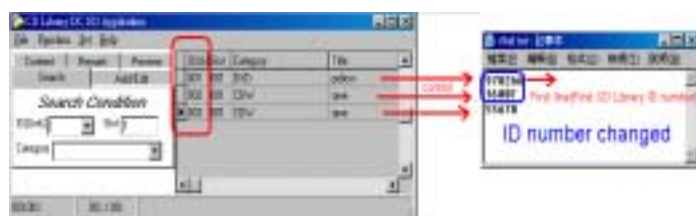


各デバイスはユニークな ID 番号を持っています。ID 番号 (dbid.txt) は C:\Program Files\CD Library\dbid.txt に保存されています。

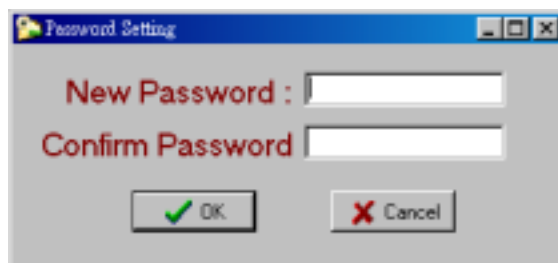
例:3 台のライブラリーをお持ちの場合、各 ID 番号が dbit.txt に保存されています。データベース ID1 が 16007(1 台目) を制御し、データベース ID2 が 978266(2 台目) を制御し、データベース ID3 が 55678(3 台目)を制御します。



手動で ID を変更できます。また「デバイス ID 変更」を使って変更することも可能です。

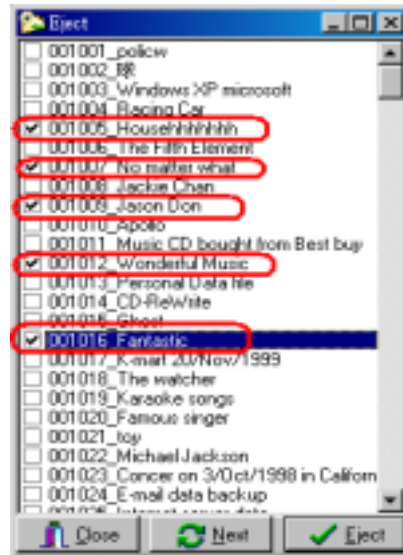


c) パスワード (Password)



パスワードをセットするとデータを保護できます。

d) マルチ選択 (Multi selection)



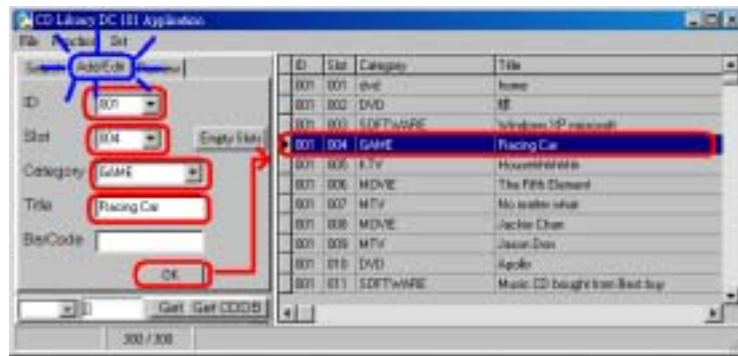
いくつかのディスクを同時に選択することができます。取り出したいディスクを選択し、「取り出し」(Eject)をクリックすると、ライブラリーが選択したディスクを一枚あたり5〜7秒で順番に取り出します。「次へ」(Next)をクリックすると、次のスロットに飛びます。

e) パネル (Panel)



6.4 Tab の項目

a) 追加・編集タブ (Add/Edit tab)

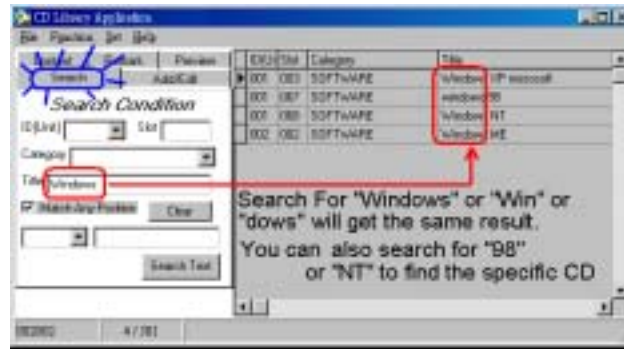


追加・編集タブをクリックすると、ディスクのデータを入力・編集することができます。必要なデータを入力してから「OK」をクリックすると、新規レコード、またはレコード変更が登録されます。デバイス ID とスロット番号は記入必須項目となっています。カテゴリ項目はオプションです。スロット番号は1～150までですので、範囲外の数字を入力するとエラーメッセージが表示されます。

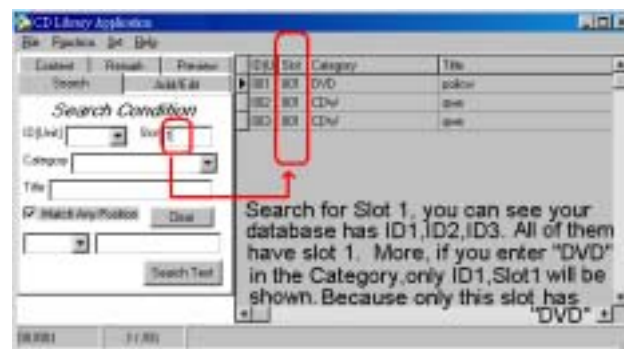


カテゴリをダブルクリックするとディスクのカテゴリを編集することができます。

b) 検索タブ (Search tab)

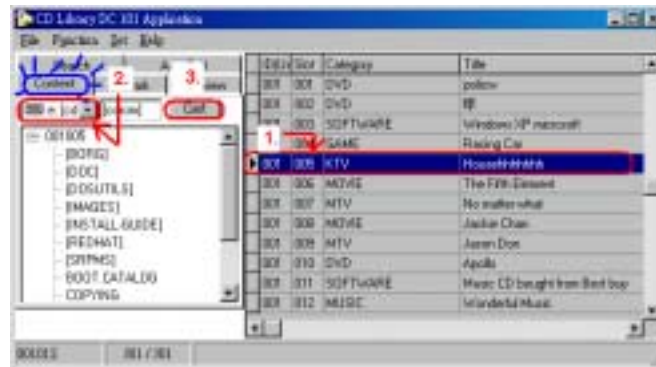


1. データベースを検索するためには、検索する文字列を入力し、「検索」をクリックします。該当する検索項目があると表示されます。データを絞って検索する場合、いくつかの検索項目を選択できます。検索項目をクリアするためには、「クリア」をクリックします。
2. 「全文検索」をチェックすると該当するすべての文字列を検索します。チェックしない場合、文書の頭文字として検索される文字列だけを表示します。





c) 内容タブ (Content tab)

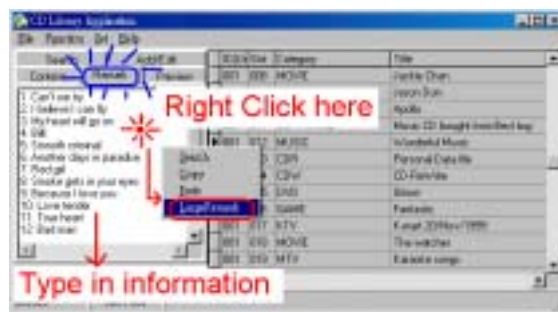


1. スロットを選択します。データ内容がこのスロットに追加されます。
2. CD-ROM ドライブを選択します。
3. 「読み込み」 (Get) を選択すると CD 内のデータが読み込まれます。



他の機能を利用する時は、右クリックしてください。

d) 内容説明タブ (Remark tab)



タイトルだけでディスク内容を十分に説明できない場合、内容説明タブでディスクの内容詳細を登録することができます。音楽 CD の曲名などを入力すると大変便利です。どの CD を誰に貸したのか、貸し出し記録としても使えます。

e) プレビュータブ (Preview tab)

1. インポート先のスロット番号を選択します。
2. 「ファイル」→「読み込み」を選択すると、スキャナーの TWAIN ソフトが起動します。スキャナーがないとこの機能はご利用できません。
3. 他の機能を利用する時は、右クリックしてください。



「プレビュー」をダブルクリックすると、bmp ファイルをインポートできます。





記述 (Description)

この機能でサムネールをブラウズすることができます。「読み込み」をクリックするとスキャナーの TWAIN ソフトが起動します。CD カバーをスキャンし、データベースに保存すると、画像で CD を検索することができます。サムネールをダブルクリックすると直接.bmp ファイルをデータベースに保存することもできます。カーソルをサムネールの上に置き、マウスを右クリックし、「リスト」(List) を選択すると、データベース内のすべての画像を一覧で見ることができます。サムネールをクリックするだけで、CD を取り出すことができます。「↑」「↓」「→」「←」「Enter」でサムネールを選択します。